

ROTARY INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



DISTRICT 360

ICHISABURO YAMADA

THE CHUKYO SOGO BANK, LTD.
3-33-13, SAKAE, NAKA-KU
NAGOYA, JAPAN 460-91

山田市三郎

国際ロータリー第360地区 ガバナー事務所
名古屋市中区栄三丁目33-13
中京相互銀行 7階

No.13 JUNE 15, 1976

●ガバナー月信 第13号 昭和51年6月15日

下郷様

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING

人間に威信を！

■第360地区ロータリークラブ会長幹事殿

五月雨に煙むる高原

国際ロータリー第360地区ガバナー 山田市三郎

6月6日の南佐久ロータリークラブの国際ロータリー加盟認証状伝達式に出席のため、日本の屋根信濃の国、そのまた屋根の小海町の里にのぼって来て、八ヶ岳高原ロッヂで、旅の疲れを洗いました。

五月雨が、窓ガラスをうち、部屋の内は暖房されてはいるが、五月冷えを覚えました。窓外を眺めていると、唐松はやわらかい新芽をふいて、目覚むるばかり美しい。樅の木々は、新芽が節をなして、すくすくと気持ちよく伸びている。白樺の老樹の幹は、雨にぬれて画がかれたように白い。見渡すかぎり無数の新樹。生々成長の水無月の昼下がり。新緑が雨に滴たたります。パートランド ラッセルの大学教育を読む手を休め、雨垂れの音を聞きながら、沈むような静けさにつつまれ瞑想に耽けります。正に一刻千金の思いです。

光陰は矢の如く、昨年の今頃はボカラトーンで、国際協議会に出席し、胸ふくらませて、「人間に威信を」の会長のターゲットの下、研修に楽しく専念していました。まだほんとうに昨日のようですが、もうのこすところ20日で、私のガバナーの任期もおわります。第360地区の唯一人のR.I.のオフィサーとしての大任を、多数のロータリーアンの皆さんに限りない

善意と友愛とのこもるご協力によって、大過なく果たしうる見通しとなりました。ここに改めて深く感謝いたします。過ぎし1年を回顧いたしますと、いたらぬことのみの数々が、走馬燈のように脳裏をかけめぐりまして、皆さんのご協力とご活躍が、すばらしく賞讃以上のものであるのに、私の指導力が余りにも貧弱であったことが思われて、恥かしさで一杯です。

「ガバナー就任以前より元気になった。顔の色つやもよい。」と友人から云われます。お世辞としても嬉しいことと思っています。ガバナーの仕事は、繁忙を極めるとかねてから聞いており、覚悟はしておりますが、実際つとめてみると、聞きしにまさる忙しさでした。“Service above self.” 「超我の奉仕」にいそしんでいるのであるという自信、この丸1ヶ年間奉仕の理想にもえ、体力と精神力との限界まで、働いているという自覚が、私の精神と身体とに清涼剤となり、栄養剤となって、大きい力をあたえてくれたのであると思います。

私はプレジデント エレクト(次期会長)として、地区協議会に出席してロータリーが好きになりました。私はガバナーノミニーとして、国際協議会に、ガバナーエレクトとして国際大会に出席して、ロータリーを愛するようになります。

した。私は公式訪問を度重ねるうちに、ロータリーのすばらしさを身にしみて感じ、神格をそなえたポール・P・ハリスさんを見出しました。こうしてこの原稿を書いていると、窓外に夕闇がせまってまいりまして、今月末任期が終わると思うと、何かしら淡わい哀愁を覚えるのです。「すべては去り、すべては戻り、とこし

えに存在の車はめぐる。すべては亡び、すべてはよみがえり、とこしえに存在の歩みはつづく。」(ニーチェ) 宇宙の無窮に比べれば50年、100年の人の一生は夢の如く、そのまた1年は幻のようです。

高原に風が出て雨あしが強くなりました。

■1975年版手続要覧付録の国際ロータリー細則及びロータリー・クラブ細則中の文言並びに訳語改正通知の件

標記、国際ロータリー細則第1条第1節(e)項全文言及びロータリー・クラブ細則第1条第4節、第4条第4節、第11条第1節(5)項、第2節、第3節(3)項中の訳語が下記の通り改正されましたから通知いたします。

原 文

手続要覧第227頁：

国際ロータリー細則第1条第1節(e)項全文

改 正

自己の区域限界内に一つまたは幾つかのアディショナル・クラブを結成することを承諾し、この目的のために(c)項の規定に基づいてこのようなアディショナル・クラブを結成するために区域を割譲するクラブは、割譲した区域内から、その事業、経営上の任務、もしくは専門職としての活動範囲内に、そのアディショナル・クラブの結成を承諾するクラブの区域が含まれている人を、自己のクラブに入会させる権利を保留することができる。この規定は、このようなアディショナル・クラブを拘束するものとする。

手続要覧第297頁：

ロータリー・クラブ細則第1条第4節下から2行目

…被選理事会員の決定によって…

…被選理事会メンバーの決定によって…

” 第299頁：

ロータリー・クラブ細則第4条第4節上から5行目

…は理事2名の…

…は理事会メンバー2名の…

” 第303頁：

ロータリー・クラブ細則第11条第1節(5)

項、右欄上から3行目

…出席理事の…

…出席理事会メンバーの…

” 全条第2節下から9行目

…に出席する理事の投げる…

…に出席する理事会メンバーの投げる…

” 第304頁：

全条第3節(3)項右欄上1行目

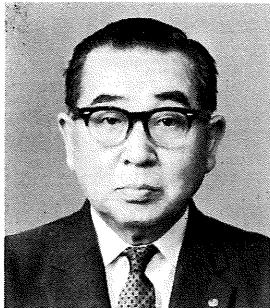
…に出席する理事の投げる…

…に出席する理事会メンバーの投げる…

■ 1975～'76年度もいよいよ余すところ半月となりました。4月号から4回にわたり、分区代理及び地区委員長の方々にご登場願い、ご活躍のあとを振り返り実績やご感想をご投稿いただいております。

西春日井R.C.の誕生

拡大委員会委員長　滝沢　卓夫



本年度拡大委員会より声を大にして報告できるのは西春日井R.C.の誕生である。

昨年10月14日、滝沢R.C.をsponsor clubとして、篠田功君が特別代表となり、34名のcharter memberをもって名古屋国際ホテルにて華々しく創立されたのである。

新クラブはその後順調に発展され本年4月11日に挙行された認証状伝達式当日には、53名の会員を擁するクラブにまで増大したことは会長幹事を始め、会員の諸君が日夜ロータリーの理解に努められ且つ並々ならぬ努力の賜物と深く

敬意を表する次第である。

5月28日ニューナゴヤホテルにて本年第1回の職業分類、会員増強、拡大の3委員会合同会議が開かれ、拡大委員会の今後の目標について情報交換がなされた。

1. 会員の増強が年々R.1.会長より要請されているように5%～10%の純増が実現された時、数年内に1クラブの会員数は現在数の倍となり、例会場の狭隘、親睦に支障を来たす危険等を考慮し、additional club創設の考慮の要あること。
 2. 将来当地区再編成の事態到来を考え、諸種の事情もあり、愛知、長野夫々独立地区となる（愛知県は現在でも独立出来る条件をえている）事を目標に長野県内に数年内に14R.C.の創立を目指み少くとも40R.C.となるよう外部拡大に努めたい。
- 等につき懇談し、その可能性につき情報交換をした。

三つの癌

会員増強委員会委員長　原　享二

初めに、今日のような経済不況下の社会に於て、会員の増強をはかることは容易ではないと思いますが、何れのクラブでも年初にたてた計画により、年々退会（死亡、転勤、健康上その他）による会員の減少を相殺するだけでも新会員を求めなければなりません。前年度に比べて会員数の横ばいか減少は、クラブ活動の沈滞か退歩を意味していることに注目すべきでしょう。

実質的に会員の増加をはかるためには、全会員の継続的且つ協同的努力が必要であります。ここで強調される会員の増強とは、単なる数字的拡大を指すものではありません。慎重に考慮され、より活動的にクラブを拡大させることを意味するものであって《生きているクラブ》こ

そ我々の目標であります。それは丁度個人として精神的老廃を防ぐためには、絶えず知識を求め、新しい興味の対象を追求し、刺戟に富む体験を必要とするのと同様で、クラブもまた《新人》特に若い人の導入をはからなくてはなりません。

ロータリアン個人の中に、会員増強を阻む次の三つの癌ともいるべき気持ちを持っている人がいるのではないでしょうか。

第一は無関心であります。自分にとってロータリーがどんな意義を持っているかについて関心を持たない会員のことです。

このような会員は出席が悪く、例会を単なる社交クラブぐらいにしか考えず、明らかにロータリーを分ち与えるという原則を無視している人達です。

第二は独善——独りよがりであります。既成事実に甘んじていて、他のことには誠実

なロータリアンであっても、〈我々のクラブはこの大きさで十分だ〉ということをよく耳にします。その地域社会で、ロータリアンたる資格を持っている人があり、しかも適正な職業分類を貸し与え得る限り、人為的に〈このくらいが手頃な会員数〉だと決めるることは出来ないはずです。

会員増強の基礎となっているものは、職業分類の原則と、その運用について明確な理解をもっていることです。

第三に排他主義であります。〈我々のクラブは上層階級の集まりだ。我々はこの会員基準を守りたい〉という誤ったエリート意識——特権意識をもつことです。

ロータリー発足時、貧乏な青年弁護士ボール・ハリスとその友達、洋服屋、石炭屋、鉱山技師——その何れをとっても今日のクラブの多くは、歓迎して会員に迎える資格を認めないのでないかと思います。しかし彼等友達仲間の基礎的な考え方方が、奉仕の理想に育ち、今日の世界的ロータリーを可能にしたことを忘れてはなりません。

クラブで年初設定した増強計画を達成させる方法として、先ず既往5～10年間に於ける会員総数の年度別増減のグラフを作成し検討します。年度間の退会者については、その理由を明らかにします。実行に当たっては全会員を5人ずつのグループに分けて、5人1組で1人の新

会員を獲得するのも一法です。(Five for one)

特に注意したいことは

1) クラブは、標準クラブの定款に、職業分類に影響を及ぼすような変更のあった場合、すべてこれを知っていなければなりません。

最近では定款第5条第5節(回)項、第5条第4節、第5条第7節に変更がありました。

2) 定款第5条第9節シニアアクチブ会員の項により、ご承知の通り、毎年必然的にシニア会員が生じているにも拘らず、その空席となった分類が充填されていない事実がかなり多く見受けられます。

また第二正会員の推薦もローカルクラブでは殆んど見られません。

3) 統計上、特に会員身分に関する規定の適用によって退会した場合を除いた、単なる欠席による退会者が相当数(約40%)あるようですが、これらは救済の余地があるはずです。

先ずクラブ自体の運営が内容の乏しいマンネリ化、形式化されていないか、即ちクラブ理事者が無気力で、指導力が弱体、魅力のない例会、不活発な委員会、新旧会員に対するロータリー情報不足、平均年令の高令化等、反省すべき点がいくらも見つかります。

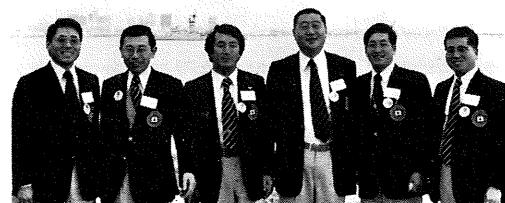
終りに、クラブが生きとして、日々新たに活発な活動を続けるためには、職業分類、会員増強、拡大各委員会が常に一体となって推進役を果たすことが肝要であります。

卓話に招待を

研究グループ交換委員会委員長 鮎谷賢太郎

一昨年フロリダへ派遣された第1回交換チームの報告書によって実証された如く、この青年実業家を中心とする研究グループ交換計画は財團奨学金制度の中最も意義のある国際親善推進活動である。資金の関係上1975年度は休止したが今年は下記の如くアメリカ太平洋沿岸のサンディエゴ市を中心とする第534地区との交換が行なわれた。

まず地区全クラブの賛成を得て昨年2月補助金を財團に申請、5月12日付で承認、山田ガバナーが国際大会に於て受入地区の Murdock ガ



サンディエゴ港を背景に
左より森、姪山、古橋、折井リーダー、
中川、百瀬の研究グループチーム

バナーと連絡され、間もなく先方の接待委員長 Stockdale 氏から受け入れ準備にかかったことを

知らせて來たので8月初めからチーム編成にかかり、まずチームリーダーとして松本クラブ国際奉仕委員長折井正達君指名に対し快諾を得、チームメンバーの募集にかかった。

その後数回にわたり地区内各クラブへメンバー5名の候補推薦を依頼したが応募者が少なく、漸く12月に至り、11名の申込書が提出され、同月13日バストガバナー5名より成る選考委員により筆記、面接試験が行なわれた。その結果次の5名が選抜された。

年令 推薦クラブ 勤務先

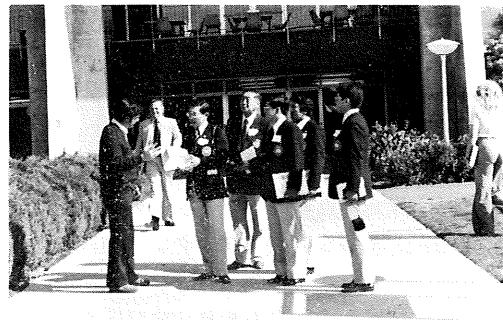
森繁太郎	(29)	名古屋	新東工業(株)
古橋武之	(30)	名古屋北	中部産業連盟
畠山善行	(36)	松	本信州医大外科
百瀬義久	(33)	松	本南鍋林(株)
中川博司	(32)	伊	那信州試験動物研究所

1月末財団より往復旅費¥1,900,800の送金が届き、爾来3月15日出発日まで5回にわたりオリエンテーションを行ない、英会話、政治、外交、経済、産業、その他エチケットに至るまでの予備教育及びロータリー知識の研修を積み、出発に先立ち名古屋市長及び中日新聞社に公式挨拶に訪問、同日名鉄ホテルに於ける歓送会を催し、G.S.E.委員3名の見送りの中に羽田空港から一路目的地へ旅立った。

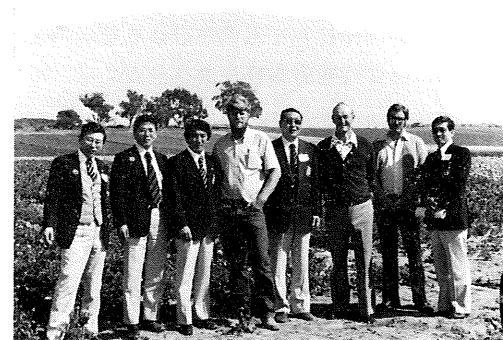
ガバナー月信に掲載された折井リーダーからの報告の如くサンディエゴ滞在1カ月間は第534地区の各所のクラブで大歓迎をうけ、数多くの尊い知識と新しい経験を得、交換親善使節団の任務を果たして、帰途アメリカの大都市を視察し4月29日チーム全員元気に帰国した。

現時点では、また詳細な報告書が提出されていないがこれからチームメンバーは当地区の各クラブから招かれ卓話を通じてアメリカ滞在中の体験、ロータリーの印象などにつき大いに語ってくれることと信じます。

この交換計画の前半を終了するにあたり、ご



サンディエゴ短期大学視察中の一行



大農園を視察する一行



スクリップ水族館見学中の一行

協力下さったG.S.E.委員、地区幹事、クラブ国際奉仕委員、分区代理の皆さまへ厚く御礼申し上げます。

なお、先方からのチームは来春当地区を訪問することになっています。その節は各クラブで大いに歓迎するよう今からご協力を願いいたします。

「主の福音」と「Rの綱領」

の基本的権利・義務」というテーマで世界運動が行なわれた。日本では16司教区がそれぞれの地区にふさわしい運動を行なった。例へば、東京教区では、新聞放送などの福音の「送り手」と信者たる「受け手」の側に立っての広報活動

広報委員会委員長 鈴木敏三郎

この5月30日は、カトリックでは「世界広報の日」と定められており、今年は「広報と人間

を、名古屋教区では「信者であることを自分の身のまわりの人にPRする」「祈りは家族揃って捧げる」といった内容のものである。

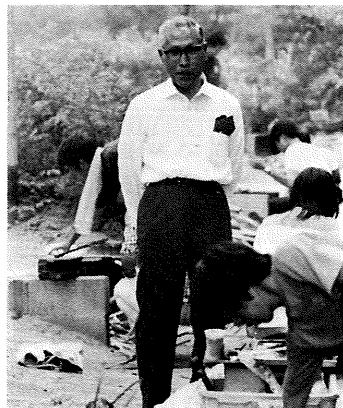
カトリックで広報という言葉が使われたのは1963年第2バチカン公会議で「広報教令」が公布されてからのことだが、考えてみると、2,000年前にキリストがユダヤの地で人間としての社会生活を営まれながら、各地を巡回して福音を述べ伝えられ自らPRの前線に立っていた姿と、今日「人間に威信を」のテーマの下に世界各地の地区がバナーが畢生の努力を傾けて公式訪問に打ちこんでいられる姿との間に、何ほどの時間的距離があろうか。しかも

「主の福音」と「Rの綱領」とが、共に人類愛という大道で一致していること、司教区と地区、小教区（教会）とRC、1週間周期の日曜弥撒とRC例会などの符合には、ただただ驚かされるばかりである。

1年間広報委員の席をいただきながら努力の足りなかったことは恥しい。日本21地区のうち東京始め5つの地区には広報委員会を特設していないことは、広報というものが専門分科せずとも、ガバナーが分区代理がC会長が、いや、会員個々が「われはロータリアン」として自らが、広報の前線を担うのだという自覚に基づく面もあるからではなかろうか。

インターラクトへの愛情

インターラクト委員会委員長 大村竹治



インターラクトの結成と運営の難しさを痛感していましたので、地区委員長の大役を不才の身でお受けすることは非常な心配でした。

1. 第12回インターラクト協議会が7月に豊橋商業1Cのホスト豊橋R.C.の指導により開催されました。年間最大の行事でホストクラブが総て企画運営され、活気の溢れた素晴らしい大会でした。

「奉仕とは」のテーマでパネル討論会が行なわれアドバイザーをつとめましたが、会員が奉仕について強い関心と理解を持っていることを知り私自身にも勉強になりました。

キャンプファイアーを囲んで歌い、地曳網を

楽しみつつ、友愛を深めたり、各R.C.の委員の方々が我が子の如く愛情こめてお世話をされている情況に接して深い感銘を覚えました。

2. 地区ロータリー情報研究会の青少年奉仕部会において1.C.が地区に8クラブでは少ないでの結成は困難ですが、熱意と弛まぬ努力を続けられれば不可能ではないと信じますと新クラブの結成をお願いしました。

3. 国外派遣の復活も熱心なご希望がありましたので、ガバナー及び青少年委員長にご無理なお願いを申し上げておりましたところ、ガバナーの温情により「地区インターラクト委員会事業として、来年度より前向きの姿勢にて研究熟考することにした。」とのご決議をいただきました。ありがとうございます。

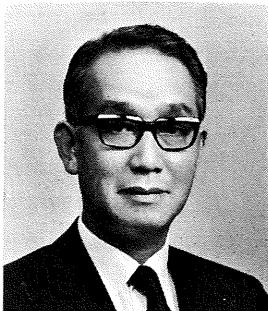
4. インターラクト幹事会を開催する要望と運動が会員からおこり、実行に移されようとしたが、学校の反対がありましたので中止させて書面で資料の交換と協議研究をはかるにして資料を集め送りました。

5. 定款細則が、来年度から変更される箇所をご指示通り連絡して、改め研究するようにしました。

山田ガバナー、赤津地区幹事の温かいご指導とご後援に厚くお礼申し上げ、私の不勉強のため十分なお手伝いが出来ませず、また新クラブの結成されなかったことを深くお詫び申し上げます。

10のプロジェクトに参加

世界社会奉仕委員会委員長 稲垣 実



今年度のロータリー
一年度も、あといく
ぱくもなく終ろうと
しています。ガバナ
ー事務所のお求めに
応じ拙い筆を取りま
す。

世界社会奉仕とい
う事は、世界中のロ
ータリークラブを対象にした活動であり、言葉
の問題もあり、これを有効に実施することは、
大変難しい事であると思います。

今年度は分区代理の皆様にお願いして、第
360 地区にある7つの分区毎に傘下のクラブを
纏めて WCS プロジェクトを取り上げて頂く事

としました。

元来、ロータリー活動は各クラブ単位で独立して行なうのが建前ですが、各クラブ単位では予算の面で纏った資金の拠出が困難な場合が多く、分区毎に纏まれば平均して10以上のクラブが1つのプロジェクトに合同参加出来、必要資金も集め易くなります。分区で纏まるという事に批判があるかもしれません、強制ではなく、あくまで自由意志で参加して頂くのであり、ロータリー奉仕の実を上げていただく事を念願に置いたものです。

お蔭様で、今年度は、下記の如く 10の WCS
プロジェクトを実施または予定しておりその金
額は 400 万円を越すと考えます。このほかパキ
スタン向子供用中古衣料の送付及びグアテマラ
地震罹災者に対する援助金の支出を行ないまし
た。今年度の実施事項を分区毎に纏めてみます
と以下の通りです。

分 区	プロ ジ ェ ク ト	相 手 国	実 施 時 期	金 額
尾張第一	グアテマラ地震罹災者救済資金	グアテラマ	1976年5月14日	616,000円
尾張第二	No.1119 井戸建設資金	イ ン ド	1976年2月12日	453,680円
三河第一	No.645 聾哑学校補聴機器購入資金	イ ン ド	1975年10月27日	405,000円
三河第二	グアテマラ地震罹災者救済資金	グアテラマ	1976年5月14日	370,000円
東北信	No.1047 地方大学3クラス増築資金	イ ン ド	1976年4月14日	427,000円
南信第一	No.876 血液及びワクチン用冷蔵庫購入資金	パキスタン	1976年3月1日	302,000円
南信第二	No.1095 目の診療キャンプ	イ ン ド	1976年5月予定	150,000円
豊橋 R C	No.1219 井戸掘用モーター購入資金	イ ン ド	1976年5月14日	382,200円
稻沢 R C	No.1242 職業訓練所資金援助	バングラデッシュ	1976年4月13日	500,000円
第360地区	No.814 ライ病救済資金	イ ン ド	1976年6月予定	100,000円
	No.1102 奨学資金	マレーシア	1976年5月予定	126,000円
	No.1096 ロップブリー市郊外の小学校教室増築資金	タ イ	1975年10月17日 (参加18クラブ)	700,000円
	No.645 聾哑学校補聴機器購入資金	イ ン ド	1975年10月27日	405,000円
	No.1047 地方大学3クラス増築資金	イ ン ド	1976年4月13日	300,000円
	No.1105 高校生への奨学資金	フィリピン	1976年4月13日	90,000円
	グアテマラ地震罹災者救済資金	グアテラマ	1976年5月14日	300,000円

このほか、パキスタン向子供用中古衣料送付
の際は殆んどのクラブが参加されたものと考え
ます。またグアテマラ地震の援助金は結局合計
1,996,000円、参加52クラブを数えました。

今年度も終りに当たり、感想としましては、
冒頭でもおことわりした如く、分区で行なう場
合、強制ではない事を改めて申さねばなりません。
今後も分区毎になさる場合、WCS Library

の Project を利用するのが、地域、言語の問題
はあるにしても、必要資料が集約されており、
やりやすいと考えます。

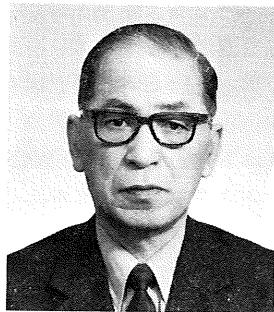
日本内部の、例えば、職業奉仕に、社会奉仕
しましても、その地域の内容を集約した資料が
整っていれば、委員長が毎年変わりましても、
やり易いのではないかと思います。

終りに臨みまして、今年度は分区毎に行ない

ました事は結果において大変よかったですと考
え、それを行なう上で、山田ガバナー、赤津地
区幹事の温かいお取りなしと、各分区代理、各

米山功労者に感謝を

米山記念奨学委員会委員長 山本 貞



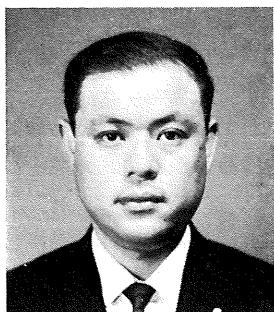
のまれお断わりも出来ず4、5のクラブに出向
き、米山記念奨学会のお話を致しました。

どこのクラブでもほとんどの方が全くご存じ
ないか、ロータリー財団と混同しておられるよう
でした。いろいろとお話すると皆さんによく
理解して頂き、ロータリー財団より身近かに感
じられる米山記念奨学会に、協力しようと言
う気持ちになって頂きました。

米山記念奨学会が皆さんによく知られてい
ない理由は、ロータリーの友誌やガバナース・レ
ターなどにロータリー財団に関する記事は多い
が、米山記念奨学会に関する記事の掲載は非常

より良い誌面づくりにご協力を

ロータリーの友編集委員会委員 石川和昌



専門委員を中心に隔月会合をもってより良い「
友」づくりに頭をひねっている。

クラブの会長、国際奉仕委員長等の方々の献身
的なご協力に謝意を表します。

に渺い。（これにはいろいろと事情あるやに承
ってはおりますが）

留学生は、名古屋の大学に集中しているた
め、名古屋周辺のクラブにしか米山奨学生の推
薦が出来ない。地区大会以外米山奨学生にお目
にかかる機会がない。米山記念奨学会への寄付
は前期、後期に分けて、クラブ会費を納入して
いるときに一緒に納めているが、半期1会費當
たり￥500～￥1,250と言う僅かな金額であるた
めに皆さん気が気とめていない。（360地区で
は半期2クラブが￥500、49クラブが￥750、21
クラブが￥1,000、2クラブが￥1,250—寄付し
ております）

今年度のロータリーの友4月号には、4月22
日より28日までの1週間を米山週間ですと数頁
をさいて米山記念奨学会の記事が掲載されました。
これは米山記念奨学会がはじまって以来の
一大PRです。私も、これに力を得て、近隣の
クラブに普通寄付の増額をして、せめてロータ
リー財団なみに半期￥1,500をお願いしております。
なお、特別寄付を心よく引受けた方々、15名の米山功労者になって頂いた豊橋ロ
ータリーの方々には深く感謝致しております。

「友」がガバナーの機関誌であるという制約
の中で、最も新しいロータリーの情報を得、専
門的見地に立てばこれ程参考になる資料は外
にないと自負しているが、反面、固苦しいとか
面白くないといった批判はこの雑誌の持つ宿命
といえる。

その中にあっても、今年から試みられた種々
の企画は地区大会に於ける素晴らしい講演の転
載、調査資料の提供、地区のたより、クラブス
・イン・アクション改題ロータリー・アト・ワ
ーク等に表われている。

そして、新設「趣味の手帖」はより身近かに
「友」を近づけようという努力であり、投書箱
の設置もロータリーに対する批判をはじめ「友
に対する忌憚のない意見開陳の場として大いに
利用願いたい。地区に1名しかいない「友」委
員の情報収集能力には限界があるので、出来る

だけ生の声を聞かせて頂きたい。この意味からいって6月号掲載当地区担当「地区のたより」頁の各分区代理のご協力に御礼を申し上げたい。

委員としての悩みは数々あるが、中でも委員の定義づけが不明確なこと、2県以上にわたる地区の連絡が十分でないこと、予算なしで活動しなければならないこと、雑誌委員会とのタイアップ等々2年任期の半分を過ぎた段階でも悩みは尽きない。

■ロータリー財団奨学生のお便り

1976年5月11日

石井詳悟（名古屋南RC推薦）

拝啓ボストンにもようやく春が訪れ、木々の青葉が目にしみる頃となりましたが、如何お過ごしでしょうか。

日本経済にもようやく立ち直りの兆しが現れ始めたとお聞きしておりますが、如何でしょうか。アメリカ経済は本格的に立ち直り始めました。オイルショックの悪夢が人々の脳裏から去ると同時に、人々はまた大型車を買い求めるようになりました。そのおかげで小型車に力を入れていましたGMはかなりの打撃を受けています。

大統領予備選(Primary election)も中盤に入り、ジミー・カーター氏とロナルド・リーガン氏が有利に選挙戦を進めております。フォード大統領は苦境に立っており、次のネブラスカでも苦戦が予想されています。リーガン氏の対ソビエト、キッシンジャー柔軟路線批判が効を奏しているようあります。予備選挙は非常に複雑でアメリカ人でも正確に知る人は多くありません。全州が予備選を行なう事ではなく、また予備選のある州において、その運営は非常に異なっているのであります。カーター氏は現在民主党側ではトップに立っていますが、彼が民主党大会(11月)で大統領候補に指名されると予測する人は少ないようです。今回の選挙戦の特徴は人々が進歩的な候補よりもむしろやや保守的な候補を好む所にあると思います。この最大の原因はベトナム戦争の終結と言われています。

バス通学問題で世界的に有名になったボストンはもうすぐ「暑い」夏を迎えるとしています。昨年以上の暴動が起きると言われています。人種問題がこの豊かな社会に深く根ざしている事がうかがわれます。Civil Warが今なお

終りに英文「ロータリーの友」について一言。今年1年宣伝期間を経て新年度から各クラブで購入して活用して頂きたい。新年度の国際奉仕委員会の予算に計上して、復活のキザシのあるマッチドクラブへ、海外訪問へ、来訪の外国のゲスト・ビジターへ贈ることが来るべき東京大会に備え、国際理解と親善に役立ち、また、日本ロータリーの現況を適格に伝えるものと確信している。

続いているのです。

1年間のコースも無事終了しました。現在荷物の整理に追われています。先日791地区大会に出席し、楽しい1日を過ごしました。同会場でケネディ上院議員と会い、言葉をかわした事は一生の思い出になると思います。

ここで今後の日程をお知らせ致します。5月27日にボストンを離れ、オレゴン州へ向いますカナダ、ハワイと旅行し、6月28日頃帰国の予定であります。

それでは皆様によろしくお伝え下さい。

敬白
(ボストン大学留学)

■為替レート1ドル=300円

6月9日(水)在日財務代行事務局より、昭和51年7月1日より始まる次年度上半期の適用相場は1ドル当たり360円に変更される旨通知がありました。

■富士見クラブと台湾・東港クラブが姉妹締結調印



4月18日、台湾・東港クラブ例会場において、姉妹締結調印の式典が行なわれ、富士見クラブから折井会長ほか14名の会員が参列、町を

5月会員数及び出席率 (51年6月10日現在)

順位	クラブ名	会員数	出席率	例会数	前月位	前会員数	増減
1	古屋北	98100	4	11	94	+ 4	
1	豊橋北	92100	4	15	91	+ 1	
1	松木田南	87100	4	1	87		
1	松木本山	79100	4	1	79		
1	犬駒山根城南	77100	4	19	77		
1	駒ケ田西	67100	4	1	67		
1	安飯諷訪	63100	4	1	64	- 1	
1	飯誠田田	61100	4	13	61		
1	辰井上山	60100	4	12	60		
1	辰井上山	59100	4	65	59		
1	辰井上山	52100	4	1	53	- 1	
1	辰井上山	43100	3	1	43		
1	辰井上山	37100	4	1	38	- 1	
1	辰井上山	32100	4	44	32		
1	辰井上山	31100	4	1	31		
17	辰井上山	24100	4	72	25	- 1	
18	辰井上山	7499.55	3	1	73	+ 1	
19	辰井上山	6999.51	3	14	69		
19	辰井上山	6899.27	4	27	68		
20	辰井上山	6799.22	4	46	66	+ 1	
21	辰井上山	10399.16	4	16	103		
22	名古屋東	7699.01	4	54	76		
23	名古屋空港	6598.86	4	34	65		
24	名古屋和井	10698.82	4	17	106		
25	名古屋日	5698.81	3	1	56		
26	名古屋中	7598.67	4	24	76	- 1	
26	名古屋中	7598.67	4	35	75		
28	名古屋井	5598.58	4	26	52	+ 3	
29	名古屋南	6798.53	3	25	69	- 2	
30	伊那野	6798.51	4	43	67		
31	長野東川	6998.39	4	37	70	- 1	
31	長野東川	6798.39	3	36	67		
31	長野南	6298.39	3	38	62		
31	長野守	6098.39	4	30	62	- 2	
35	古屋南山	7598.13	5	23	74	+ 1	
36	小宮牧	5398.11	3	33	53		
37	一名古屋北	7397.92	4	52	73		
38	一名古屋西南	12997.55	4	45	130	- 1	
39	豊尾旭	5497.22	4	22	54		
40	豊尾張	4397.13	4	32	43		
平均出席率=96.91%							

会員数 4,625名 純増 -.6 (累計 261)

あげての歓迎をうけた。

東港は高雄より南へ車で約一時間ばかりのところにある港町で、高雄に次ぐ魚貝類の集散地として魚や果物の豊富なところで、日本へも輸出されている。

締結期間は三か年で、中の親善友好と理解を深め世界平和に寄与することを目的とし、今後相互にクラブの刊行物及びロータリー活動の情報交換、相互訪問等が行なわれる。ご締結心からお慶び申し上げます。

■常滑クラブ創立10周年記念例会開催

去る5月28日(金)午前11時30分より例会場において、常滑クラブ創立10周年記念例会が厳かに挙行された。当日は山田ガバナー、スポンサークラブ半田RC会長幹事、東海・東知多両RC会長ほか地元の市長、市議長、警察署長、商工会議所会頭、報道関係者等多数の来賓と会員家族が参列した。

なお、記念事業として5月15日(土)常滑市市民体育会館大ホールにおいて、名古屋フィルハーモニー交響楽団演奏会の開催、ロータリー財団302,000円(1千ドル)及び米山記念奨学会300,000円の特別寄付がなされた。

■世界社会奉仕に参加

・南信第一分区は、プロジェクトNo.1095インド貧困住民の無料眼科診療所開設のための資金として151,000円(\$500)を援助した。(5月)

・南信第二分区は、プロジェクトNo.1219インド井戸掘用モーター資金として382,200円を援助した。(5月)

敬弔

次の方がお亡くなりになりました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

三ツ井孝君(大町)

三ツ井土産店経営主

昭和51年5月15日逝去 40才

石原勝一君(安城、名誉会員)

中央精機㈱会長

昭和51年5月16日逝去 84才

滝沢貴一君(駒ヶ根)

宮田木材㈱社長

昭和51年5月19日逝去 80才

野沢政男君(新城)

豊橋観光自動車㈱常務

昭和51年6月9日逝去 62才

■米山記念奨学会へ特別寄付

当地区より、4月及び5月中に下記のとおり特別寄付がなされました。ご貢献に対し深甚の

第360地区 財団寄付金一覧表 (1976.5.31現在)

(単位ドル)

クラブ名	会員数 1974	本年度累計 (U.S.ドル)	寄付額累計 (U.S.ドル)	順位 %	次の順位への 必要額	クラブ名	会員数 1974	本年度累計 (U.S.ドル)	寄付額累計 (U.S.ドル)	順位 %	次の順位への 必要額
あま	59	3,313.94	11,400.09	1900	399.91	名古屋 東	80	16,825.20	23,311.73	2900	688.27
安城	57	2,119.28	6,179.30	1000	90.70	名古屋 守山	71	1,581.37	11,474.55	1600	595.45
渥美	60	1,379.28	2,370.82	300	29.18	名古屋 中	75	1,493.15	10,683.09	1400	566.91
尾西	38	4,253.84	7,057.91	1800	162.09	名古屋 北	98	6,579.67	41,530.97	4200	609.03
富士見	27		1,251.50	500	368.50	名古屋 南	105	3,483.00	24,718.43	2300	481.57
蒲郡	63	2,425.05	6,341.36	1000	588.64	名古屋 東南	70	2,720.84	13,041.65	1800	258.35
白馬	24	1,000.00	1,290.00	500	150.00	名古屋 和合	50	714.00	5,105.91	1000	394.09
半田	68	446.74	7,815.51	1100	344.49	名古屋 西	135	3,042.93	16,961.70	1200	588.30
碧南	67	1,803.68	11,703.59	1700	356.41	中野	35	1,320.74	2,145.76	600	304.24
東知多	38	1,617.25	4,256.31	1100	303.69	西春日井	34	1,497.32	1,497.32	400	202.68
一宮	81	3,034.26	11,367.73	1400	782.27	西尾	64	2,175.00	8,287.64	1200	32.36
一宮北	70	1,672.23	7,540.99	1000	159.01	岡谷	49	4,584.98	11,072.69	2200	197.31
飯田	70	5,030.00	13,076.64	1800	223.36	岡崎	77	6,748.00	27,219.54	3500	500.46
飯田南	58	2,526.89	6,067.35	1000	312.65	岡崎 東	41	1,279.00	6,190.93	1500	369.07
飯島	30	6,179.40	7,726.14	2500	73.86	岡崎 南	60	4,076.68	10,505.03	1700	294.97
伊那	63	10,344.80	12,129.82	1900	470.18	奥三河	34	1,102.71	3,228.06	900	171.94
稻沢	53	1,721.77	5,722.15	1000	107.85	大町	60		2,825.43	500	774.57
犬山	63	1,206.41	9,895.69	1500	184.31	尾張旭	39	1,752.20	5,209.82	1300	250.18
一色	44	1,432.73	4,312.94	900	87.06	名古屋 港	94	4,456.00	23,571.28	2500	868.72
刈谷	70	730.24	10,090.24	1400	409.76	瀬戸	67	2,200.69	11,237.39	1600	152.61
軽井沢	35	123.00	5,036.28	1500	563.72	新城	39	1,340.00	2,775.99	700	344.01
春日井	71	2,282.68	7,974.58	1100	545.42	諏訪	52	2,539.99	4,289.93	800	390.07
木曽	42	2,173.99	5,870.89	1300	9.11	田原	46	196.06	3,749.00	800	391.00
駒ヶ根	64	156.94	25,131.30	4000	1,108.70	高浜	44	404.35	2,864.33	600	215.67
小牧	52	3,234.00	7,181.87	1300	98.13	辰野	44	115.00	5,278.22	1500	1,761.78
小諸	50	2,809.00	17,555.41	3500	444.59	戸倉上山田	29	111.86	1,077.51	300	82.49
江南	53	1,001.75	5,983.77	1100	376.23	東海	45	1,130.82	2,820.70	600	329.30
丸子	36	82.00	1,705.73	500	454.27	常滑	51	2,496.00	7,043.79	1300	96.21
松川	34	656.27	2,858.07	800	201.93	豊橋	99	5,029.26	31,395.38	3100	284.62
松本	71	5,607.94	13,165.58	1800	324.42	豊橋 北	86	3,093.49	17,225.41	2000	834.59
松本南	79	6,427.93	12,735.54	1600	694.46	豊橋 南	52	1,135.10	9,003.24	1700	356.76
松本西南	36	4,305.40	5,186.35	1400	213.65	豊川	58	1,999.76	7,215.12	1200	324.88
南佐久						豊田	85	2,120.64	13,060.11	1500	539.89
箕輪	20	126.75	687.48	300	112.52	豊田 西	55	1,066.20	5,060.18	900	439.82
長野	71	74.00	4,513.44	600	456.56	津島	64	6,242.99	16,144.57	2500	495.43
長野東	61	2,155.12	5,258.76	800	231.24	上田	58	142.53	4,111.35	700	528.65
名古屋	220	20,223.11	57,450.89	2600	1,949.11	計	4415	206,419.85	727,302.89		
名古屋空港	72	5,944.65	8,464.65	1100	175.35						

敬意を表します。

5月8日	中野 峰男 (豊橋)	300,000円
5月11日	春日井クラブ	50,000円
5月13日	名古屋北クラブ	131,000円
5月15日	加藤 庄一 (岡崎)	20,000円
5月20日	常滑クラブ	300,000円
5月29日	大村 竹治 (岡崎)	20,000円
4月28日	志貴 彦人 (岡崎)	10,000円

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING

人間に威信を！



山田市三郎

国際ロータリー第360地区
ガバナー事務所
〒460-91
名古屋市中区栄三丁目33-13

中京相互銀行7階
☎名古屋(052)262-6111（交換）
☎名古屋(052)262-2505（直通）
地区幹事 赤津賢太郎
(名古屋南ロータリークラブ)